鈴胆			♀ │ 開講年月	度 令和05年度		授業科目	IoTシステム	
科目基			•		•		•	
科目番号		0025			科目区分	専門 / 選	 ≩択	
授業形態						数 学修単位		
開設学科	電売受利 総合イノ/			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		専1		
用設期 前期		<u> </u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		2	2		
教科書/教材 ノート講義			講義			1=		
担当教員		青山俊						
到達目	•		314					
			シェニュ マンコン	・・カクラウド笠を利用	用して簡単なIoTシスラ	= 1.のプロトタ	ノプを記計・宝	ニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		び以削女糸で	生生性し、マイコン	ノマクフラト寺でが	けして同年は101ン人	ムのノロドラ	1ノで取引・天	衣(さる。
ルーブ	リック		TM+0.45 ( ) T()		I#3445 1 x 7/12 1			
				レベルの目安	標準的な到達レベ	レの目安	未到達レベル	レの目安
評価項目1				IoTシステムを構成する技術要素を 理解し、的確なシステム構成を提 案できる		IoTシステムを構成する技術要素を 理解している		∆を構成する技術要素ない
評価項目2			な技術要素の  れらを組み合	マイコン、クラウドなどの具体的な技術要素の使い方を理解し、それらを組み合わせて IoTシステムを実装できる		マイコン、クラウドなどの具体的な技術要素の使い方を理解している		クラウドなどの具体的 の使い方を理解してい
評価項目3			IoTシステム	の企画、設計を行え	る IoTシステムの企画 トできる	IoTシステムの企画、設計をサポートできる		ムの企画、設計ができた
学科の	到達目標耳	頁目との	関係					
教育方		·						
	·— ··	IoTシス	 ステム構成する技術	 抗要素はセンサ、デル	 バイスからクラウド・・	 ヹキュリティま	で多岐にわたる	。 。これらを理解し、、
概要		イコン	やクラウド等を利	用して簡単なIoTシス	ステムのプロトタイプ	を設計・実装で	きる知識・技術	を身につける。
授業の進	め方・方法	すべてのを行う。	の内容は,学習・ 。マイコン(Ardui ・要件定義を行い	教育到達目標(B)<県 no)、クラウド(AWS 、プロトタイプを設	厚門>に対応する。講 6)等の基本的な使い方 計・実装する。	ではスライド を実習で習得す	によりIoTシステ 「る。また、チー	テムの技術要素の説明 -ムによりIoTシステム
注意点		小テス	ト、IoTに関する知 ションで評価する	よび評価基準> D識等のプレゼン資料 。	料等及び実用的なIoTシ	ステムの仕様、	、設計を提案する	るレポート及びプレセ
	属性・履(	ルテス ンテー く単位 学業成 修上の区	ト、IoTに関する知 ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分	ロ識等のプレゼン資料 。		ステムの仕様、		
授業の	属性・履作 ティブラーニ	ルテス ンテー く単位 学業成 修上の区	ト、IoTに関する( ションで評価する) 修得要件> 績で60点以上を取	ロ識等のプレゼン資料 。	料等及び実用的なIoTS □ 遠隔授業対応	アステムの仕様、		るレポート及びプレゼ なのある教員による授業
授業の 図 アクラ	ティブラーニ	ルテス ンテー く単位 学業成 修上の区	ト、IoTに関する知 ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分	ロ識等のプレゼン資料 。		アステムの仕様、		
授業の 図 アクラ	ティブラーニ	ルテス ンテー く単位 学業成 修上の区	ト、IoTに関する知 ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分	ロ識等のプレゼン資料 。	□ 遠隔授業対応	ステムの仕様、	☑ 実務経験	
授業の 図 アクラ	ティブラーニ	小テス ンテー く単位 学業成 多上の区グ ニング	ト、IoTに関する ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分	D識等のプレゼン資料。 ・ 得すること.	□ 遠隔授業対応		☑ 実務経験標	
授業の 図 アクラ	ティブラーニ	小テス ンデー 学業成 学上の区 ニング 週 1週	ト、IoTに関する ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 図 ICT 利用	ロ識等のプレゼン資料。 得すること.	□ 遠隔授業対応	lごとの到達目 <sup>;</sup> . IoTの概要を <sup>3</sup>	☑ 実務経験標	のある教員による授業
授業の 図 アクラ	ティブラーニ	小テス ンデー く単位 学業成 多上の区 ニング	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 續で60点以上を取 分 図 ICT 利用	<ul><li>回識等のプレゼン資料。</li><li>得すること。</li><li>ヨン 約</li></ul>	□ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 1 1	ごとの到達目: . IoTの概要を <sup>3</sup> . IoTシステム(	② 実務経験 標 理解する	(のある教員による授業) 一ムを理解する
授業の 図 アクラ	ティブラーニ	小テス マ学業成 学業成 多上の区 こング 週 1週 2週	ト、IoTに関する ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 図 ICT 利用 授業内容 イントロダクシ データ収集と集	<ul><li>回識等のプレゼン資料。</li><li>得すること。</li><li>ヨン</li><li>約</li><li>礎</li></ul>	□ 遠隔授業対応 〕 〕 1 2 3	ごとの到達目: . IoTの概要を: . IoTシステム。 . IoTを構成す:	☑ 実務経験 標 理解する のプラットフォ・ るネットワーク	のある教員による授う 一ムを理解する
授業の 図 アクラ	ティブラーニ	小テス ンデー 学業成 多上の区 2 3 3 3 3 3	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分	D識等のプレゼン資料。 得すること. ヨン 約 礎 ユーティング	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目 . IoTの概要を <sup>1</sup> . IoTシステム( . IoTを構成す . クラウドコン	☑ 実務経験 標 理解する のプラットフォ・ るネットワーク	のある教員による授業 一ムを理解する を理解する f(AWS)を理解する
授業の 図 アクラ	ティブラーニ	小テス   小テス   マデ   学業成   多上の区グ   こング   週   1週   2週   3週   4週	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 図 ICT 利用	D識等のプレゼン資料。 得すること. ヨン 約 碰 ユーティング ーコード	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目: . IoTの概要を! . IoTシステム( . IoTを構成す: . クラウドコン,	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォ・ るネットワーク? ・ピューティング ノーコードツー	でのある教員による授業 一ムを理解する を理解する f(AWS)を理解する で、LVを理解する
授業の 図 アクラ	ティブラーニ	小テスー シー マデ単位 学業成 多上の区 シグ 週 1週 2週 3週 4週 5週	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 図 ICT 利用 一クタクシー・データ収集と集 ネットワーク基 クラウドコンピー・コード、ノ センサー、デバ	D識等のプレゼン資料。 得すること. ヨン 約 碰 ユーティング ーコード	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目 . IoTの概要を . IoTシステム。 . IoTを構成す . クラウドコン . ローコード、 . IoTシステム	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォ・ るネットワーク? ・ピューティング ノーコードツー	でのある教員による授業 一ムを理解する を理解する 「(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する
授業の 図 アクラ 授業計	ティブラーニ	小テテ単位成 学業 多上の区 1週 2週 3週 4週 5週 6週	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 図 ICT 利用 授業内容 イントロダクシ データ収集と集 ネットワーク基 クラウドコンピ ローコード、ノ センサー、デバ IoTシステムのご	D識等のプレゼン資料。 得すること. ヨン 約 礎 ューティング ーコード イス	□ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  1 2 3 4 5 6	ごとの到達目: . IoTの概要を3 . IoTシステム6 . IoTを構成す: . クラウドコン . ローコード、 . IoTシステム . IoTシステム	□ 実務経験  標  理解する  のプラットフォ・ るネットワーク・ ・ピューティング ノーコードツー で使われるデバー	のある教員による授業 一ムを理解する を理解する 「(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う
授業の ② アクラ 授業計i	ティブラーニ	小テス   小テス   小テス   小テス   小テス   小テス   小テス   小子   小子   小子   小子   小子   小子   小子   小	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 図 ICT 利用 授業内容 イントロダクシ データ収集と集 ネットワーク基 クラウドコンピ ローコード、ノ センサー、デバ IoTシステムのご	<ul> <li>記識等のプレゼン資料</li> <li>得すること.</li> <li>お</li> <li>プロトタイピング(1)</li> </ul>	□ 遠隔授業対応 1 2 3 4 5 6	ごとの到達目: . IoTの概要を! . IoTシステム( . IoTを構成す: . クラウドコン . ローコード、 . IoTシステム( . IoTシステム(	□ 実務経験標 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピ	のある教員による授業 一ムを理解する を理解する 「(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う ングを行う
授業の ② アクラ 授業計i	ティブラーニ	小テア 学業の 多上の 国 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 ② ICT 利用 授業内容 イントロダクシ データ収集と集 ネットワーク基 クラウドコンピ ローコード、ノ センサー、デバ IoTシステムのこ IoTシステムのこ	D識等のプレゼン資料。 得すること. ヨン 約 礎 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2)	□ 遠隔授業対応  1 1 2 3 4 5 6 7 8	ごとの到達目。 . IoTの概要を3 . IoTを構成す。 . クラウドコン . ローコード。 . IoTシステム。 . IoTシステム。 . IoTシステム。	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー のプロトタイピー ネジメントを理	のある教員による授業 一ムを理解する を理解する 「(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う ングを行う
授業の ② アクラ 授業計i	ティブラーニ	小   小   デ   デ   デ   デ   単   に   に   に   に   に   に   に   に	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取分 ② ICT 利用  授業内容 イントロダクシ データ収集と集	<ul> <li>間識等のプレゼン資料</li> <li>得すること</li> <li>割ン</li> <li>約</li> <li>碰</li> <li>ユーティング</li> <li>ーコード</li> <li>イス</li> <li>プロトタイピング(1)</li> <li>プロトタイピング(2)</li> <li>ティ</li> </ul>	□ 遠隔授業対応  1 1 2 3 4 5 6 7 7 8	ごとの到達目。 . IoTの概要を3 . IoTを構成す。 . クラウドコン . ローコード。 . IoTシステム。 . IoTシステム。 . IoTシステム。	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー のプロトタイピー ネジメントを理	でのある教員による授業 一ムを理解する を理解する 「(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う ングを行う 解する
授業の ② アクラ 授業計i	<b>画</b> 1stQ	小ンマ学 学上の区 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	ト、IoTに関する祭ショクで評価する。 修得で60点以上を取 分	D識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 礎 ューティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 設計(1)	□ 遠隔授業対応  1 1 2 3 4 5 6 7 7 8 8	ごとの到達目: . IoTの概要を! . IoTを構成す: . クラウドコン . ローコード、 . IoTシステム:	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー のプロトタイピー ネジメントを理	でのある教員による授業 一ムを理解する を理解する 「(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う ングを行う 解する
授業の ② アクラ 授業計i	ティブラーニ	小   小   マ   マ   マ   で   で   で   で   で   で   で   で	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 図 ICT 利用 授業内容 イントロダクシ データ収集と基 クラウドコンピ ローコード、ノ センサー、デバ IoTシステムの データ分析 運用とセキュリ IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの	D識等のプレゼン資料 ターコン 約 砂 ボーフード ・イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 受計(1) 受計(2)	□ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 1 2 3 4 5 6 7 7 8 8	ごとの到達目。 IOTの概要を IOTシステム。 IOTを構成す。 クラウドコン。 ローコード、 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー のプロトタイピー ネジメントを理	でのある教員による授業 一ムを理解する を理解する 「(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う ングを行う 解する
授業の ② アクラ 授業計i	<b>画</b> 1stQ	小   小   マ   マ   マ   で   で   で   で   で   で   で   で	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 図 ICT 利用 授業内容 イントロダクシ データ収集と基 クラウドコンピ ローコード、ブ IoTシステムの データ分析 運用とセキュリ IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの	D識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 礎 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 设計(1) 设計(2) 设計(3)	□ 遠隔授業対応  1 1 2 3 4 5 6 0 7 8 8 9	ごとの到達目: . IoTの概要を3 . IoTシステム6 . IoTを構成す: . クラウドコン . ローコード、 . IoTシステム6 . IoTシステム6 . IoTシステム6 . IoTシステム6 . IoTシステム6 . IoTシステム6	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー のプロトタイピー ネジメントを理	でのある教員による授業 一ムを理解する を理解する 「(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う ングを行う 解する
授業の ② アクラ 授業計i	<b>画</b> 1stQ	小ンマ学   で   で   で   で   で   で   で   で   で	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 績で60点以上を取 分 ② ICT 利用 一 授業内容 イントロダクシ データ収集と基 クラウドコンピ ローコード、デバ IoTシステムの データ分析 運用とセキュリ IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの	D識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 礎 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 設計(1) 設計(2) 設計(3) 设計(4)	□ 遠隔授業対応  1 1 2 3 4 5 6 7 7 8 9 9	ごとの到達目。 IOTの概要を3 IOTシステム。 IOTを構成す。 クラウドコン。 ローコード。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー のプロトタイピー ネジメントを理	でのある教員による授業 一ムを理解する を理解する 「(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う ングを行う 解する
授業の 図 アクラ 授業計	<b>画</b> 1stQ	小ンマ学   で   で   で   で   で   で   で   で   で	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件> 續で60点以上を取分 分 図 ICT 利用 授業内容 イントロダクシ データ収集と基 クラウドコンピ ローコード、ブバ IoTシステムの ゴのTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの	D識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 礎 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 設計(1) 設計(2) 設計(3) 设計(4)	□ 遠隔授業対応  1 2 3 4 5 6 7 7 8 8 9	ごとの到達目: . IoTの概要を3 . IoTシステム() . IoTを構成す: . クラウドコン . ローコード、 . IoTシステム() . Io	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー のプロトタイピー ネジメントを理	でのある教員による授業 一ムを理解する を理解する f(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う ングを行う 解する
授業が授業計	画 1stQ 2ndQ	小ンマ学   の区   マート   で   で   で   で   で   で   で   で   で	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件/ 検で60点以上を取分 分 図 ICT 利用 授業内容 イントロダクシ データ収集と集 クラウコード、ブ ローコード、ブ IoTシステムの IoT IoTシステムの IoT IoTシステムの IoT IoT IoT IoT IoT IoT IoT IoT IoT IoT	回識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約  碰 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 设計(1) 设計(2) 设計(3) 设計(4) 设計(5)	□ 遠隔授業対応  1 2 3 4 5 6 7 7 8 8 9	ごとの到達目。 IOTの概要を3 IOTシステム。 IOTを構成す。 クラウドコン。 ローコード。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。 IOTシステム。	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー のプロトタイピー ネジメントを理	でのある教員による授業 一ムを理解する を理解する f(AWS)を理解する ・ルを理解する イスについて理解する ングを行う ングを行う 解する
授業の 図 アクラ 授業計 前期	画 1stQ 2ndQ	小人   小人   学   かん   で   で   で   で   で   で   で   で   で   で	ト、IoTに関する祭ショクで評価する。 修行での点以上を取分 一位 ICT 利用 一位 ICT 利用 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、アムの。 「ローコート・アムの。 「コート・アムの。 「コート	□識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 礎 ューティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 受計(1) 受計(2) 受計(3) 受計(4) 受計(5)	□ 遠隔授業対応  1 1 2 3 4 5 6 0 7 1 8 8 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ごとの到達目: . IoTの概要を3 . IoTシステム() . IoTを構成す: . クラウドコン . ローコード、 . IoTシステム() . Io	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバ・ のプロトタイピ・ ネジメントを理り の運用とセキュ	である教員による授業のある教員による授業のある教員による授業を理解するを理解するでは、からで理解するでいて理解するでいて理解するであるである。 ・ルを理解するであるできます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
授業の対策計	画 1stQ 2ndQ	小ンマ学   の区   マート   で   で   で   で   で   で   で   で   で	ト、IoTに関する祭ショクで評価する。 修行での点以上を取分 一位 ICT 利用 一位 ICT 利用 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、デバー 「ローコード、アムの。 「ローコート・アムの。 「コート・アムの。 「コート	□識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 礎 ューティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 受計(1) 受計(2) 受計(3) 受計(4) 受計(5)	□ 遠隔授業対応  1 1 2 3 4 5 6 0 7 1 8 8 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ごとの到達目: . IoTの概要を3 . IoTシステム() . IoTを構成す: . クラウドコン . ローコード、 . IoTシステム() . Io	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバ・ のプロトタイピ・ ネジメントを理り の運用とセキュ	でのある教員による授業のある教員による授業のある教員による授業を理解するを理解するで、(AWS)を理解するで、しいて理解するで、イスについて理解することがを行うというを行うないである。
授業の対策計	画 1stQ 2ndQ コアカリニ	小人マライ   小人で   かんで   からで   からで   かんで   からで   からで	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件/ 検で60点以上を取分 分 図 ICT 利用 授業内のタクシ データ収集と基 クラコード、ブバ IoTシステムの	□識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 礎 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 設計(1) 設計(2) 設計(4) 設計(5)  別達目標  「学習内容の到達[	□ 遠隔授業対応  1 1 2 3 4 5 6 7 7 8 9 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	ごとの到達目 . IoTの概要を . IoTシステム . Do つドコン . ローコード、 . IoTシステム . IoT - IoT	標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー ネジメントを理り の運用とセキュー 到	である教員による授業のある教員による授業のある教員による授業を理解するを理解するでは、 でAWS)を理解するでいて理解するでは、 イスについて理解するでは、 ングを行うでを行うであるでするでするでするでするでは、 リティを理解する
授業の授業計	画 1stQ 2ndQ コアカリ= 合	小人マライ   小人で   かんで   からで   からで   かんで   からで   からで	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件/ (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	□識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 碰 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 设計(1) 设計(2) 设計(3) 设計(4) 设計(5)    達目標	□ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	ごとの到達目だ。 . IoTの概要を . IoTシステムで . IoTを構成する . クラウドコン . ローコード、 . IoTシステムで . IoTシステムで . IoTシステムで . IoTシステムで . IoTシステムで . IoTシステムで 記1-9 記1-9 記1-9 記1-9	標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ピューティング ノーコードツーで使われるデバーのプロトタイピー ネジメントを理りの運用とセキュー 到 4 その他	である教員による授業のある教員による授業のある教員による授業を理解する。
授業の 授業計 新期 デルカ	画 1stQ 2ndQ コアカリ= 合	小人マライ   小人で   かんで   からで   からで   かんで   からで   からで	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得で60点以上を取分 が 図 ICT 利用 授業内の ロリー ローファー ローファー アークリー ローファー ド・データ ローファー アーク ローファー アーク ローフ・アーク ローフ・アーク ローフ・アーク ローフ・アーク ローフ・アーク ローフ・アーク はの アーク カー ローフ・ステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの まとめ ア学 宮内容 は現題 100	□識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 礎 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 役計(1) 役計(2) 役計(3) 役計(4) 役計(5)    達目標	□ 遠隔授業対応    1	ごとの到達目 . IoTの概要を . IoTシステム . Do つドコン . ローコード、 . IoTシステム . IoT - IoT	標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー ネジメントを理り の運用とセキュー 到	である教員による授業のある教員による授業のある教員による授業を理解するでは、1人を理解するでは、1人を理解するでは、1人でで行うといて理解するでは、1人でで行うがあるできます。 ファイを理解する はましていた 理解する はましていた 理解する はまました。 はまままままままます。 はまままままままままます。 はままままままままままま
授業計	pィブラーコー	小人マライ   小人で   かんで   からで   からで   かんで   からで   からで	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得要件/ (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	□識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 碰 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 设計(1) 设計(2) 设計(3) 设計(4) 设計(5)    達目標	□ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	ごとの到達目。 . IoTの概要を3 . IoTシステム。 . DoTを構成す。 . クラウドコン。 . ローコード、 . IoTシステム。 . IoTシステム。 . IoTシステム。 . IoTシステム。 . IoTシステム。 . IoTシステム。 記1-9 記1-9 記1-9 記1-9	標 理解する のプラットフォー るネットワーク・ピューティング ノーコードツーで使われるデバーのプロトタイピー ネジメントを理りの運用とセキュー 到 4 その他	である教員による授業のある教員による授業のある教員による授業を理解するでは、1人を理解するでは、1人でで行うといて理解するでは、1人でで行うを行うを行うがある。 ファイを理解する は できる にもん にもん できる は できる にもん にもん にもん にもん にもん にもん にもん にもん できる にもん にもん にもん にもん にもん にもん できる にもん
授業の対策計画	画 1stQ 2ndQ コアカリー 合 試 割合 0 i	小人マライ   小人で   かんで   からで   からで   かんで   からで   からで	ト、IoTに関する祭ションで評価する。 修得で60点以上を取分 が 図 ICT 利用 授業内の ロリー ローファー ローファー アークリー ローファー ド・データ ローファー アーク ローファー アーク ローフ・アーク ローフ・アーク ローフ・アーク ローフ・アーク ローフ・アーク ローフ・アーク はの アーク カー ローフ・ステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの IoTシステムの まとめ ア学 宮内容 は現題 100	□識等のプレゼン資料。 得すること.  ヨン 約 礎 ユーティング ーコード イス プロトタイピング(1) プロトタイピング(2) ティ 役計(1) 役計(2) 役計(3) 役計(4) 役計(5)    達目標	□ 遠隔授業対応    1	ごとの到達目。 . IOTの概要を3 . IOTシステム。 . IOTを構成す。 . クラウドコン . ローコード、 . IOTシステム。 . IOTシスト、 . IOTシスト . IOTシスト . IOTシスト . IOTシスト	□ 実務経験 標 理解する のプラットフォー るネットワークラー ピューティング ノーコードツー で使われるデバー のプロトタイピー ネジメントを理り の運用とセキュー 到 4 その他 0	である教員による授業のある教員による授業のある教員による授業を理解するでは、AWS)を理解するイスについて理解するイスについて理解することがを行うとがを行う解するリティを理解する